

清水の子



- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 5 号 令和 5 年 7 月 2 5 日 発行

世界一明るい学校をめざして

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼす人として決して許されないものです。また、いじめは、加害者、被害者のほか、加害者の周りにはやしたてたり、面白がって見ていたりする観衆の層、そして、見て見ぬふりをする傍観者の層の四層構造になっており、集団の問題とも言われています。

学校では「いじめ防止対策基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を進めているところです。6月と11月に実施する「いじめの把握のためのアンケート調査」も、この取組の一つです。6月の調査では、今年の4月から調査日まで嫌な思いをしたことがあると回答した児童が34名、そのうち今（調査日）も嫌な思いをしていると回答した児童が16名いました。学校では、相談時間を設け、一人一人の気持ちを受け止め、組織的に対応しています。ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。

集団で生活をする中で、人間関係による様々なトラブルが発生することは避けられません。それが大きな問題にならないようにするためには、温かい人間関係を築けるようにしなければなりません。本校では、お互いを認め合い、尊重する活動を行い、自己肯定感が高まるよう教師からの直接の指導によるものだけでなく、子どもたち一人一人が自分で考え、行動できるようにしています。児童会を中心とした活動もその一つで、子どもたちが様々なアイディアを出し、活発に行われています。

7月20日には、全校児童が今よりもっと仲良くなるために、児童会三役・学級委員会が主催する「なかよし集会」が行われました。なかよし集会では、児童会長から7月3日に行われた「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」の参加報告、児童会・学級委員から「いじめのない学校を目指しての取組」の発表、うれしかったことや明るい気持ちを子どもたち一人一人が紙に書いて虹を作る「ハッピーレインボー」の取組、全校児童で「新時代」を踊ったり、一つの輪になって「校歌」を歌ったりする活動がありました。特に、全校児童で踊ったり歌ったりする活動は、その場にいた約200人の子どもたちの気持ちが一つになり、感動的な集会でした。

さて、明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みです。子どもたちにとって有意義な夏休みになるよう、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

